



六月平日山行、日光・女峰山

報告

西東實錄

あだたら

発行所  
三本松市新生町  
あだたら山の会  
編集部

そこで各々朝食、昼食を買  
い出しました。登山口駐車場で会長が準備した味噌汁を飲みながら朝食を攝り、七時頃出発。菅野サブを先頭に、一四〇〇段もある延々と続く木の階段上りから登山が始まりました。赤錦山へは、予定より若干早く到着しここからアップダウンが続く尾根歩き。登山客とは結局一組も会いませんでした。登山道は整備されていて特に迷うような所もない山頂直前に鎖場の若干危険な箇所はありました。比較的歩きやすかったですが、山頂には十二時半頃到着しました。山頂に着くと、

【行動】女峰山、百名山の中でも特に人気がある山とは言えませんが一度は行つてみたかった山でした。前に、三浦副会長から説かれたことがありましたが、平日ということもあり仕事の都合でお断りしていました。今回なんとか仕事の都合を合わせて参加することができました。まず、JAグリーンセンター二本松に朝四時集合。一路東北自動車道と日光観光道路を使い、霧降高原ギズゲ平登山口へ。日光道路を降りてすぐにはセブンイレブンがあり、

まさに雲海の上で真名子山などを見渡すことができましたが、あいにく男体山はみえませんでした。山頂の祠に三浦副会長が準備したお神酒を奉納し参拝。昼



朝食中

【参加者】（機械五名）三浦敏男、青木幹夫、菅野善雄、伸、椎原寿明、西東寛樹、（機械無し六名）菅野善雄、町田、佐藤タカ子、菅原富美子、佐藤雄一、竹部雅代、山の会十一名

（林業女子会から四名参加）鈴木美也子、宮崎紀子、佐藤裕子、壳岐慶子、総計十五名。

【行動】七時三十分塩沢ヌキ場集合、七時五十分出発、青木さん西東さんは遅れて参加、西東さんは十二

A group of approximately ten people, mostly men, are gathered outdoors in a grassy area. They are all wearing hard hats and safety vests, suggesting they are involved in a professional or scientific survey. In front of them is a row of ground-penetrating radar (GPR) units mounted on poles, with their cables fanning out on the ground. The background shows a dense green forest.

時前に撤退。笹平分岐まで上り、十一時頃から刈り払い開始。沢水の場所（水呑み場）で昼食十二時四十分～十三時十分、下山しながら作業、僧悟台分岐十五時二十分、一旦作業終了。更に下山して見晴台の場所だけ作業。十六時五十五分全員下山、十七時解散。菅野善雄さん、菅原さん、夕力子さんは別行動（登りながら刈り払い作業し途中で合流しました）。

A photograph showing a person's legs and feet as they operate a string trimmer or brush cutter on a steep, grassy hillside. The machine has a long handle and a rotating head with a wire or string for cutting vegetation.



青木会長作業中

力子さんは別行動（登りながら刈り払い作業し途中で合流しました）。

前号の訂正役員の分担  
菅野英伸さん、「装備」と  
なっていいますが正しくは  
「企画」です。お詫びします。

六月二十四日（壬）二十五日（癸）

六月山行、岩手・焼石岳

報告 高橋國藏



【参加者】 C工管野英伸、  
 S・L西東、会計斎藤章子、  
 記録高橋国蔵、竹部、三浦  
 敏男(六名)

【行動】花の百名山焼石岳  
 に六月二十四日、二十五日  
 に六名での山行です。十二  
 時二本松市役所に集合し、  
 前泊で時間に余裕があり、  
 平泉を巡りました。中尊寺  
 に十五時に到着し本堂で登  
 山の無事を祈願し、三千点  
 を収穫する讚衡藏を拝観し  
 何時みても堂全体が金箔の  
 迫力には圧倒されました。  
 中尊寺を後にし、前泊先の  
 「やけいし館」に荷物置き、  
 「焼石岳温泉ひめかみ」で  
 入浴・夕食し、夕焼けの道  
 を歩き宿泊先に戻り懇親会  
 をしました。

翌日四時三十分宿を出発  
 し日本最大級の奥羽湖眺め  
 て、長い登山道走り駐車場  
 に到着。すでに十八台も駐  
 車場に、さすが花の百名山

で、もっとも花が華やかな時期と納得しました。五時二十分中沼登山口から登山開始、六時に中沼へ。中沼は霧が少しかかり、逆さ焼石岳が写し出され忘れがたき風景を堪能しました。焼石岳は奥羽山脈にあり、雪深く水が豊富で焼石岳の山頂近くまで水がながれています。約三十種類の花が咲き誇り、水芭蕉は登山口から山頂近くまで咲いています。他にはリュウキンカ、シラネアオイ、ヨツバシオガマ、ヒナザクラ、ムシトクリスマレ、チングルマ、ハクサンイチゲと花畠が広がります。途中の銀明水は冷たく、水量も多く美味しい

です。途中の残雪は多くありませんが、暖かいせいもありましたか、緩みアイゼンを装着するほどではありませんでした。九時二十分に焼石岳山頂に到着。山頂は運がよく青空が広がり三六〇度のパノラマを楽しみました。天気が不純で、予報では十二時から雨ですこし心配しましたが、予定を変更し、花煙で名高い姥石平を周り下山しました。天気予報は当たりませんでした。帰りは昨日と同じ温泉で汗を流し、二十二時に二本松市役所到着しました。(三頁にも写真有)

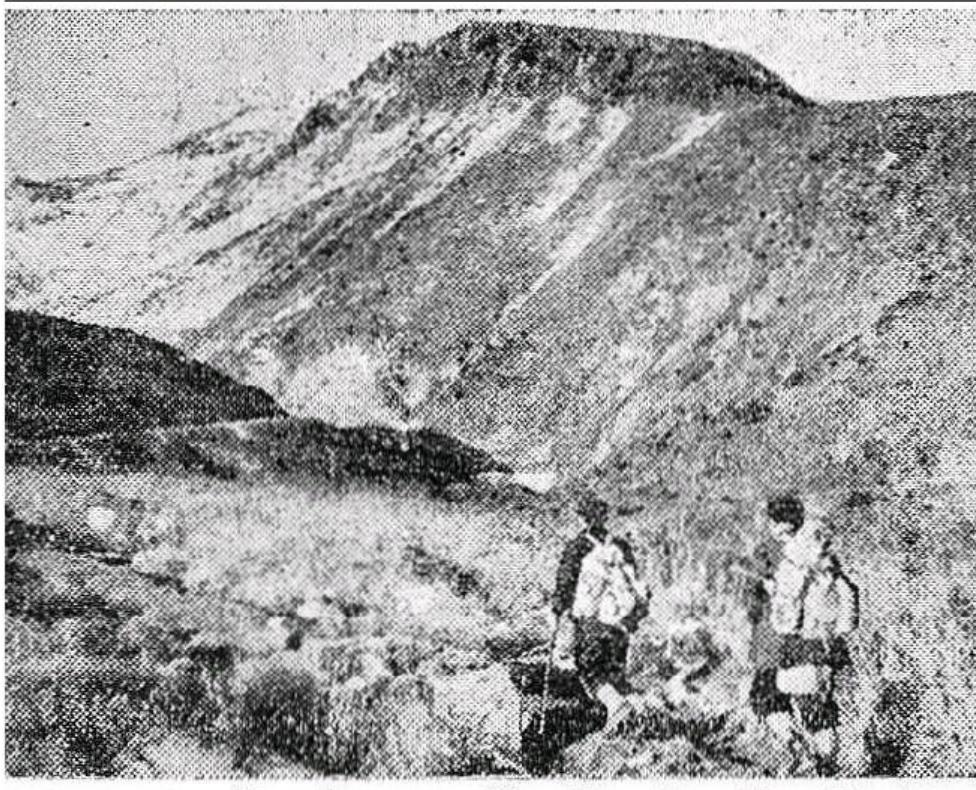
安達太良画発掘写真

勢至平から鐵山

昭和二十五年十月十五日  
の中央新報紙面、祝安達太良國立公園指定の紙面で  
「吾妻磐梯の展望台・國立公園安達太良連峰の偉容」  
として、見開き紙面に十九枚の写真を掲載している。

勢至平から鉄山  
その中にとても貴重な一枚  
があった。勢至平の「塩沼」  
別れ「あれたりからくるが  
ね小屋に至る湯桶添いの  
登山道が写されているが、  
樹林が全く無いのだ。勢至  
平部分はおそらく「茅野」

その向こうは塵俗いの道。  
江戸時代もこうだったのだ  
だろうか。「湯小屋」への  
泊まり客も、深堀の「下タ  
小屋」から、このような道  
を歩いたのだろうか。ここ  
は名前たる強風地帯、風の  
あるときはどうしたのだろ  
う。因みに昭和二十五年は  
まだ連合軍の占領下。



# 鐵山 = 勢至平にて

六月五日(月)

個人山行、藏王・不忘山

報告 菅野善雄



不忘山に初めて登ったのは平成十年六月六日エコーラインから入山した。不忘山山頂の花、ヤマザクラを初め、イチゲ、シラネアオイその他の花々が咲き乱れ、その時の事が忘れられずその後毎年のように不忘山に通う様になった。年によっては早い時、また花が終わってしまった事も何回かあった。またそれが一つの楽しみに繋がっていたのもかも。昨年は五月二十八日、今年は六月五日に入山したが昨年も今年も山頂の花は最高、私達を待っていてくれた様だ。花に囲まれての

昌食は格別、極楽、極楽。  
来年も来るよと花々と約束、下山する。  
安達太良山の花情報。六  
月二十三日(金)晴れ、安  
達太良、峰の辻のオノエラ  
ン今年は遅れ 今が三部  
咲き。



峰の計、オノエラン

【参加者】菅野善雄、阿部ひとみ、竹部天候 前半 晴れ、  
下山時 雨。七時三十分、  
道の駅ちゆ集合、八時十分  
分野地温泉駐車場出発、ブ  
ナ林の根つこの階段、旧土  
湯峠分岐（テレビアンテナ  
盤が見える、ガレ場を上がり  
る、九時十五分鬼面山山頂  
(箕輪山が大きく遠く感じ  
る)、長い雪渓を直登、ゆ  
っくり上がる、十一時五分  
箕輪山山頂、昼食十一時五  
十分(風があるので大きな  
岩陰で食べた)、下り始め  
たら雨になった、雪渓脇に  
ショウジョウバカマ、十四

時三十分頃、無事下山。シヤクナゲ少し咲いてました。雪渓の量も多く、お花もまだまだこれからだと思いました。登山道は以前に比べたら、歩き易く感じました。個人で整備される方のおかげだと思います。雪渓の歩き方などを善雄さんからご指導いただきました。鬼面山から箕輪方面に下りる岩場の登山道で迷わないよう注意が必要です。現在はマークが付いています。帰りはぼくじんぐ風も強かったです。ねんど土が滑る。色々経験出来た山行になりました。

A scenic view of a lake surrounded by dense green trees under a cloudy sky. The water is calm, reflecting the surrounding landscape.

# 中沼から焼石岳

燒石岳寫真



鬼面山（箕輪山往復山行）

個人山行  
切経山

報告



酸介平避難小屋

休憩、九時五十分鎌沼、姥ヶ原にてたくさんの中ングルマを鑑賞、この付近の木道がほとんど新しくなつて歩いて歩きやすかつたです。十一時十五分鬼平に戻りました。イワカガミもあちこちたくさん咲いていました。ひとみさんと小荒井さんに初めての一切経山を楽しんで頂きましたが、雨で残念でした。この日、福島は梅雨入りしました。淨土平から酢ヶ平避難小屋までの登山道脇の剪定をしていましたが、個人でやっている方だと思っています。

若い女性三人?が、喜寿の善穎さんから生まるパワーラインを頂きました。同行して頂き、感謝の言葉しかありません。